羽村市史編さんだより

第3号 <sup>平成27年</sup> 10月

# 中であく













## 地域別聞き取り調査を行いました

8月19日(水)~21日(金)に、奈賀・田ノ上・間坂・宮地・美原地区の習俗や伝承について、聞き取り調査を行いました。70歳以上で、この地区で生まれ育った方、結婚してこの地区に住むようになった方など、のべ68人の方に参加していただきました。

昔羽村で栄えた養蚕の話、子どもの頃の遊びの話、 昔の家の行事や食事の様子など、貴重な話をたくさん 聞かせていただきました。

今回の調査を基に、各分野について、さらに詳しく 聞き取りなどを行い、『羽村市史』にまとめていきま す。今後、他の地区の聞き取り調査も行う予定です。





### 参加者の話から…

私は、昭和37年に自宅で結婚式をしたよ。 4、5回も着替えて、最後は喪服まで見せたの。 その後、仲人さんと神社へお参りに行って、近所に顔見せに回ったわ。



田ノ上地区 中野さん

昔は、美原の事を「原」 って言ったんだ。

昭和31年、羽村が西 多摩村から町に変わる時 に、「美しい」をつけて「美 原」という地名に変わっ たんだよ。

美原地区 田村さん

## 羽村市史関連講座を行います!

~(仮)民俗調査から見えてくる 羽村の生活の様子~

今回の聞き取り調査でわかった羽村の生活の 様子を、羽村市外の地域と比較しながら、お話 します。

昔の羽村の様子をのぞいてみませんか。

日 時 12月5日(土)午前10時~正午

会場 生涯学習センターゆとろぎ 講座室 1

定員80人(先着順)

参加費 無料

※直接会場へお越しください。

※詳しくは、広報はむら 11 月 1 日号をご覧く ださい。



各部会の活動の様子を紹介します。

## 口 用語の解説

中世石造供養塔…鎌倉・南北朝・室町・戦 国時代に自分や他人の功徳・供養のため に建てられた塔のこと。

**拓本**…木・石などに刻まれた文字・模様を 紙に当てて写し取ったもの。

ででいる。 一般・一般とりも大きい(直径 2mm以上の) 岩石の破片。



## **■ 第1部会** ~原始·古代·中世~

市内の中世石造供養塔(板碑・五輪塔・宝篋 印塔)の調査を進めています。目標は市内全域 の全点調査です!

過去の調査を基に、どこに何が何点残されているのかを確認しています。現存するものについては、写真撮影やスケッチ、拓本の採取を予定しています。

また、青梅市にある天寧寺・塩船観音寺で、 中世の羽村に縁のある三田氏関係の資料の撮 影・内容確認を行いました。



▲中世石造供養塔調査の様子

## 第2部会 ~近世~

撮影記録された羽村市に関係する江戸時代 を中心とした史料を閲覧し、『羽村市史』の執 筆・掲載に活用できるものを検討しています。

それと並行して市外に保管されている史料 のなかで羽村市に関連するものについて、検 索・閲覧も引き続き行っています。

今後実施する予定の市内調査については、市内で保管されている新たな史料の発見を目標に、調査地・調査方法などを検討しています。



▲資料調査の様子



## 第3部会 ~近代:現代~

川崎地区にある個人所有の石蔵を調査しま した。石蔵に所蔵されていた近現代の文字史料 を中心に、今後確認作業と目録化を行います。

また、資料編「近現代写真図録編(仮)」の刊 行に向けて、市の刊行物に掲載された写真の複 写や、広報写真の整理を行っています。

そのほか、引き続き市役所の行政文書や新た に東京都公文書館資料の検索、過去に羽村市や その周辺地域で発行された民間資料の所在調 査などを進めています。



▲川崎地区石蔵内資料調査の様子

## ■ 第4部会 ~自然~

第4部会は地形・地質班、気候班、生態班に 分かれて活動しています。

地形・地質班は、多摩川の河原で礫の調査を 行い、礫の大きさ・種類・形状の特徴を記録し ました。

気候班は、猛暑日であった8月2日(日)に 市内全域で2度目の気象観測を行いました。

生態班は、生物に関するさまざまなデータを 集めています。また、市内の樹木の年輪を調べ るために、伐採された木から試料の採取を行い ました。



▲樹木の試料採取の様子

## ■ 第5部会 ~民俗~

8月19日(水)から21日(金)にかけて行 った、第1回目の市内民俗調査(聞き取り調査) が無事に終了しました。

部会では当日を迎えるまでに、『羽村町史』 や過去の調査資料から、改めて調査することが 必要な事項を確認しました。

今回伺った昔の日常生活や年中行事、地域組 織の成り立ちなどのお話と合わせて過去の調 査資料などの情報を整理し、引き続き聞き取り 調査を継続していきます。



▲聞き取り調査の様子(田ノ上会館)

# 市史編さんの足あと(



## ※①~⑤は部会の数字です。(例) ① ⇒ 第1部会

| 月  | 日        | できごと              | 月  | 日      | できごと             |
|----|----------|-------------------|----|--------|------------------|
| 7月 | 3日(金)    | ① 郷土博物館資料閲覧       | 8月 | 26日(水) | ⑤ 個別聞き取り調査       |
|    | 6日(月)    | ①『羽村町史』執筆者との懇談    |    | 28日(金) | ⑤ 個別聞き取り調査       |
|    | 8日(水)    | ⑤ 郷土研究会会員との懇談、郷   |    | 31日(月) | ③ 川崎地区石蔵内資料調査    |
|    |          | 土博物館資料閲覧          |    |        | ⑤ 個別聞き取り調査       |
|    | 10日(金)   | 老人クラブ連合会への説明      | 9月 | 1日(火)  | ③ 川崎地区石蔵内資料調査    |
|    | 15日(水)   | 羽村市史編さんだより 第2号発行  |    | 2日(水)  | ④ 伐採された樹木の年輪測定   |
|    | 21日(火)   | ④ 多摩川河原での礫調査      |    | 3日(木)  | ⑤ 個別聞き取り調査       |
|    | 28日(火)   | ③ 川崎地区石蔵内資料調査     |    | 10日(木) | ⑤ 個別聞き取り調査       |
|    | 29日(水)   | ⑤ 美原会館史料調査        |    | 14日(月) | ① 中世石造供養塔調査      |
| 8月 | 2日(日)    | ④ 気温の移動観測・風向風速の観測 |    | 15日(火) | 町内会長会への説明        |
|    | 18日(火)   | ① 中世史料調査(青梅市寺院)   |    | 24日(木) | ① 中世石造供養塔調査      |
|    | 19日(水)   | ③ 郷土博物館収蔵資料確認     |    | 28日(月) | ④ 気温観測データ(定点)の回収 |
|    | 19日(水)   | ⑤ 地域別聞き取り調査(奈賀・田  |    | 29日(火) | 第3回羽村市史編さん委員会    |
|    | ~21 日(金) | ノ上・間坂・宮地・美原地区)    |    |        | ① 中世石造供養塔調査      |
|    | 24日(月)   | ① 中世石造供養塔調査       |    |        | ④ 多摩川河原での礫調査     |
|    | ~26 日(水) |                   |    |        |                  |

## 

爽やかな風が気持ち良い季節です。そんな秋 を感じる今日このごろ、「秋といえば?」と聞か れた時、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。 私の場合、「食欲の秋!」と答えるでしょう。

そんな私が最近熱中している食べ物が"田舎 の母"の味を想わせるお菓子です。このお菓子 は、定期的に新しい味の商品を出していますが、 そのほかに季節・地域に関係した商品も数多く 出しており、その全容を把握することはなかな かに容易ではありません。

このお菓子を食べながら感じるのは、時期や 季節による変化はもちろん、全国的・地域的な 変化にも富んでいるということ。そして、新た な変化を見せながらも、根幹にある「母を想わ せるような懐かしい味」を守っているというこ とです。

市史を考えていく上でも、時間経過による地 域の変容を敏感に感じとること、広域的・狭域 的な視点で事例を検討することが必要ではない

でしょうか。また、それと同時に、市民の皆さ んに郷土羽村に対する愛着を深めてもらえるよ うな市史にしていかなければ、と考えています。 これからも、羽村での時代・地域ごとの特徴 を感じながら、『羽村市史』の調査を行っていき たいと思います。(S.Y記)



※「ちっとんべぇ」とは、羽村の昔ことばで 「ちょっと、少しばかり」という意味です。